

## 平成30年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 94

学校名 千葉県立松尾高等学校

課程名 全日制

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組、手だて)	評価項目・指標 (評価方法、評価基準)
学校経営	1 家庭や地域、関係機関等との連携を密にした教育活動を推進する。 2 S G H事業を中心として、グローバル人材の育成と、その教育方法の普及に努める。	① ホームページや学校便り、携帯メール情報発信により、学校の取組について最新の情報を提供する。 ② 家庭や地域の企業や団体等の協力を得ながら、教育活動に必要な人的又は物的な体制を整え、連携及び協働を深める。 ③ カリキュラムマネジメント等のS G Hの研究成果を、他の高校や小中学校へ普及する。	① ホームページの掲載内容と更新状況、教育活動の理解が深まるメール発信、学校便りの発行 ② 職員・生徒・保護者・開かれた学校づくり委員会による学校評価結果 ② 昨年度以上の地元企業(37社)や自治体(6回)と連携した取組の実施回数 ③ 小中学校等での研究成果発表を2回以上
学習指導	1 確かな学力「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。 2 基礎学力の向上を図り、自律的学習ができる生徒を育成する。 3 言語活動の充実を図る。	① 生徒による授業評価アンケートを行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向かって授業改善に努める。 ② 校長による授業見学を実施する。また、授業公開や校内研究授業により授業内容の充実及び深化を図る。 ③ 通年で、英語・国語・数学の義務教育段階からの学習に取り組む。 ④ 学校設定科目による教科横断的で地域密着、課題探求型授業に取り組む。	① 生徒による授業評価アンケートの結果 ② 昨年度以上の校内研究授業(6回)・研修会(6回)の実施回数とその状況 ③ 業者模試を活用した学力診断 ④ ルーブリック及びポートフォリオを活用した学習評価の結果
生徒指導	1 人格の形成に努め、社会の一員としてのマナー・モラルの向上を図る。 2 教育相談体制を充実させ、生徒との望ましい人間関係づくりを推進する。 3 いじめ防止・早期発見・早期解決の徹底を図る。	① 全職員の共通理解や教育活動全体を通じての道德教育等により、心身ともに健康で、活力ある生徒を育てる。 ② 面談週間などをおして教育相談体制の確立を図り、自律心や他者を思いやる心などを育成する。 ③ いじめ防止基本方針のもと、いじめ防止対策委員会を中心に、全職員でいじめ撲滅に取り組む。	① 月初めの服装等の指導の実施状況と職員・生徒・保護者による学校評価アンケートの結果 ② 昨年度以上の生徒面談(2回)の実施状況や職員研修(2回)の実施回数 ③ 学校いじめ防止基本方針に基づく取組の実施状況
キャリア教育	1 将来の生き方と、適切な進路の選択について、組織的・継続的に指導する。 2 地域課題の解決に向けた取組やS G Hと福祉教育を融合させたキャリア教育を実践する。	① 総合的な学習の時間等を活用し、望ましい勤労観や職業観を育成する。 ② 地域・関係団体との連携を図り、インターンシップを充実・発展させる。 ③ 地元自治体等から外部講師を招へいするなど、ガイダンス機能を充実させ適切な進路情報を提供するとともに、高齢化や過疎化等の地域の課題について考えさせる機会を提供する。	① 総合的な学習の時間の実施状況 ② 昨年度を超える生徒の参加状況(2,3年66名) ③ 昨年度以上の外部講師によるガイダンスの実施(1年9回、2年7回、3年7回)と、生徒・保護者による学校評価結果
特色ある教育活動	1 全校生徒を対象に、全職員でS G Hの取組を実施し、松尾高校ならではの教育を推進し、その普及に努める。 2 福祉に関する教育内容の充実を図る。 3 部活動を充実させ、学校の活性化を図る。	① S G Hの取組成果を大学や地元自治体、研究機関、他校種等で発表する。 ② 高齢者福祉施設等との連携を図り、介護職員初任者研修等の資格取得を推進する。 ③ 部活動の加入率を向上させ、生徒がお互いに切磋琢磨しながら技術と心を磨ける環境を整える。	① 大学や研究機関、地元自治体等と連携した取組の実施状況 ② 福祉コース選択者(2年4名、3年8名)の増加と取組 ③ 部活動の加入率(94%)や職員・生徒・保護者による学校評価アンケートの結果

